

他自治体における生涯学習センターの設置状況 Ver.2

①単館

番号	施設名	自治体	都県	所管	民間活力導入形態	導入年	開館時間	休館日	主な事業(キーワード)	主な施設(全日利用料金)	利用者数	人口 2021年1月 単位:人	生 セ 数	会 館 数	公 民 館 数	そ の 他 数	関 連 施 設 合 計	備考	事例としての特徴	HPIに掲載されている施設のコンセプトなど(掲載がない場合は設置条例にある設置目的)
-	生涯学習センター	町田市	東京都	教委	直営		9~22時	第4月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、場の提供、情報提供、学習相談	ホール(12,970円) 学習室(1,610~4,920円) 音楽室(1,610~2,880円) 和室(2,230~3,340円)	156,158人 (2019年度)	429,152	1	0	0	0	1		①生涯学習の全体計画立案、②関係機関との総合調整、③情報収集・提供、④学習相談・人材育成、⑤施設貸出、⑥講座事業の6つの機能を提供し、生涯学習の支援事業を実施している。	市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するため、様々なテーマの講座や講演会を実施するほか、生涯学習に関する情報の収集や提供、生涯学習に関する相談業務、施設貸出などを行う。
1	九段生涯学習会館	千代田区	東京都	首長	指定管理/ミズノグループ(美津濃(株)、(株)集英社プロダクション、大星ビル管理((株))	2007	9時~21時	第3月(祝翌)、年末年始	講座(人材バンク活用講座、区民企画講座など)、施設貸出、バウチャー制度(受講費補助)、市民団体支援、人材バンク、青年学級	ホール(9,400円) 音楽視聴覚室(7,500円) 集会室(2,300~6,000円) 和室(4,600円)	7,956件 (2019年度) ※利用件数。	67,216	0	0	0	2	2	その他施設=九段生涯学習会館、アーツ千代田3331	民間による指定管理の事例。人材バンクやバウチャー制度(講座受講費の一部助成)なども実施。ちよだ生涯学習カレッジ(市民大学)を別に事務局を設置し大学との連携で実施。出前講座「ほりばた塾」や日曜青年教室(障がい者青年学級)など一部事業を直営に残し実施している。	こころを育み、明日へ繋ぐ
2	生涯学習センター ばる〜ん	港区	東京都	教委	指定管理/(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団(Kissポート財団)	2006	9時~21時30分(日は17時)	第3月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、学習相談、情報提供、まなびの循環、人材バンク、出前講座	レクリエーションルーム(22,100円) 学習室(1,200~8,800円)	101,212人 (2017年度)	259,036	2	0	0	0	2	生セ=生涯学習センターばる〜ん、青山生涯学習館	財団による指定管理事例。管理者主催事業は区民大学等少数で、施設管理・貸し出しが主。まなマルシェ(まなびの循環事業)、サークル情報、人材バンク、出前講座は事務局生涯学習部門に残し直営で展開。	【設置条例】区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習社会を実現していくため
3	生涯学習センター	台東区	東京都	教委	直営 ※社会教育館はJN共同事業体(JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ)による指定管理。	2006	9時~22時	第1・3・5月、年末年始	施設貸出、情報提供 ボランティア登録、検索エンジン	ホール(81,000~145,000円) スタジオ(2,300~3,750円) 会議室・研修室(2,300~45,000円) ※曜日、在在の別により料金が異なる。	355,000人 (2016年度)	203,647	1	5	0	4	10	社会教育センター、社会教育館4館、その他施設=公会堂、記念館等	センターは中央図書館、教育支援館、男女平等推進センター、学習館からなる複合施設。マルチメディアルームやトレーニングルームもあり貸館に特化。学習館でボランティア登録&登録者講座(やまびこ塾。2020年度廃止)を実施。生涯学習情報コーナーを受付に併設。事務局生涯学習課で検索エンジン(講座・団体情報)を運営し、区HPIに掲載。公民館的活動は社会教育館で実施。	【設置条例】区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するとともに、豊かな生涯学習環境を整備することを目的として設置
4	すみだ生涯学習センターユートリヤ	墨田区	東京都	首長	指定管理/JN墨田共同事業体((株)JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ)	2019	9時~21時	第4月(祝翌)、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、情報提供、学習相談、場の提供 検索エンジン、出前講座	ホール(34,900~52,350円)、音楽スタジオ(4,000~6,000円)、研修室・講習室(2,800~12,000円)※区民料金あり。	159,286人 (2019年度)	275,647	2	0	0	0	2	その他施設=みどりコミュニティセンター	学習相談(サークル・人材・施設・講座)実施。HPIに検索エンジン(すみだマナビ)も掲載。所管部署の地域活動推進課では、「すみだ生涯学習センター情報誌」のほか「墨田地域学情報We」地域活動ガイドブックなどを発行し、出前講座も実施。	区民の文化活動や生涯学習の拠点として、地域の活性化を図る。心の「ゆとり」を感じさせる施設「余裕(ゆとり)舎」であってほしいとの思いを込めている。
5	生涯学習センター	荒川区	東京都	首長	指定管理/株式会社読売・日本テレビ文化センター	2009	9時~22時	年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 ICT、人材バンク	大会議室(4,000円) 体育館(7,000円) 会議室(2,000円) ※社会教育関係団体の優遇措置あり。	158,006人 (2019年度)	216,535	1	0	0	2	3	その他施設=町屋文化センター、サンパル荒川	廃校を活用し、教育センターと併設されている。コンピュータ室があり、IT講習会を実施しているほか、講習のない時にはIT講習室を区民に開放している。事務局で荒川区社会教育サポーター制度(人材バンク)を運用。社会教育委員の会議も含め、首長部局が行っている。	さまざまな分野で生涯学習を行っている方々や団体等の活動場所として、また、これから学習を始めようとする方、学習活動を進めるための相談等、区民の新たなチャレンジを応援する生涯学習施設。
6	まなぼーと大原(大原生涯学習センター)	板橋区	東京都	教委	直営		9時~21時30分	第3月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供、場の提供 青年学級、ICT	ホール(5,400円) 集会室・会議室(860~1,140円) スタジオ(2,150円)	96,605人 (2019年度)	570,213	2	0	0	4	6	他まなぼーと成増(成増生涯学習センター)、その他=成増アクトホール、高島平区民館、グリーンカレッジホール(シニア学習プラザ)など	旧社会教育会館。家庭教育支援(はたらく)や障がい者青年学級(あすなろ)など社会教育時代を踏襲した講座が目立つ。ダンスや個人学習のできる若者向けスペース「i-youth」を設置。区民スタッフによる初心者向けパソコン講座実施。	区民の学習活動の拠点であり、気軽に自由に利用することができ、新しい友人と出会うための広場。多くの区民と学習した成果を分かち合う場。
7	生涯学習センター	練馬区	東京都	首長	直営		9時~21時30分	第1・3・4・5月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 出前講座(ボランティア)	ホール(64,400~77,600円) 会議室・教室(3,200~6,300円) 視聴覚室(6,300円) ※土日祝料金有、時間単位可。	134,765人 (2019年度)	740,099	2	0	0	0	2	他に分館あり。	元練馬公民館で図書館と併設。H24年の組織改正で文化芸術・生涯学習・スポーツ振興を一元化し首長部局に移管、名称を生涯学習センターに変更。生涯学習情報サイト「あそぶ」の運営、出前講座(ボランティア)などを実施。学校応援団という、ひろば事業・学校開放を実施する地縁組織を生涯学習部門で所管。	誰もが「よりよく生きる」知恵と力を身に付けるために学習・文化活動を幅広く営む場。各種活動への参加を通じて学習を深め、グループ活動など自主活動の中で暮らしを豊かにし、地域を創る力を援助する施設。
8	生涯学習センター	足立区	東京都	首長	指定管理/あだち学びときずな創造事業体(ヤオキ商事ほか)	2006(地方自治法改正を受け、区内約70施設を対象に導入)	9時~21時30分	第2月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 ボランティア支援、ICT	講堂(23,900~35,800円) 研修室(5,800~11,400円) コンピュータ学習室(200円/人・時間)※土日祝料金有。	108,105人 (2019年度)	691,002	1	13	0	2	16	他に地域学習センター、NPO活動支援センターなど	足立区生涯学習複合施設(学びピア21)の4~5階にあり、図書館、放送大学などとの複合施設。区内地域学習センターの基幹施設の位置付けたが、施設毎に異なる指定管理者が運営しており、単館で運営されている。サークル情報の提供(PDF一覧表)、情報誌の発行などのほか、特色としてコンピュータ学習がある。	つなげる つながる 新たな活動がはじまる
9	生涯学習センター	八王子市	東京都	教委	直営		9時~22時	第1火、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 出前講座、学習相談	ホール(37,800~47,300円) スタジオ(15,000円) 学習室(4,100~15,800円) ※土日祝料金有。	271,505人 (2018年度、分館含む)	561,828	3	0	0	2	5	分館2、他に学園都市センターなど	家庭教育、放課後子ども教室、出前講座などの講座を実施。他に情報プラザの運営、学習相談の実施、学生用自習スペースの設置などを行っている。学校開放の所管でもある。	だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち八王子
10	ネットたまぐーセンター(文化交流センター)	青梅市	東京都	教委	ネーミングライツ/ネットヨタ多摩と年間108万円で5年契約	2019.4~2024.3	9時~22時	第3月(祝翌)、年末年始	施設貸出、場の提供 ネーミングライツ、多様な実施主体	ホール(18,000円、土日祝23,000円)、バンドルーム(2,200円)、ミーティングルーム・会議室(900円~3,900円)	86,304人 (2016年度、市民会館最終年)	132,145	0	0	0	3	3	その他施設=ネットたまぐーセンター(文化交流センター)、御岳山ふれあいセンター、視聴覚ライブラリー	市民会館を再編し、2019年度開設した新施設。ネーミングライツ導入事例(年間108万円)。施設運営では「みんなのあそび場」をコンセプトに4名のあそびコーディネーターを委嘱。施設内に青梅市民センターがあるが別組織。所管は社会教育課で、市主催事業も行われているが、市民・民間の事業主体。	市民に文化活動および地域交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、生活文化の向上と生涯学習の振興に寄与することを目的とした施設
11	生涯学習センター	府中市	東京都	首長	指定管理/ふちゆう生涯学習センター共同事業体((株)コンベンションリンクージ、(株)住友不動産ほか)	2013	9時~22時	第1月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 生涯学習ボランティア	講堂(30,000~60,000円) 研修室・工房(2,800~6,600円) スタジオ(11,500~17,200円) ※市民・市民以外の2段階料金制。	10,510件 (2019年度) ※5年間で約45万人と報告書に有。	260,255	1	0	11	0	12	公民館としているのは、市民協働推進部の文化センター(町田という市民センター+子どもセンター)	総合学習施設の位置付けで、図書館、PC室、版画室、温水プール、体育室、宿泊施設も有する。講座は教養、生活実技などが中心。文化センターでは、月1~2回、地域行事イベント(芋掘り、どんど焼きなど)を実施。生涯学習ボランティアを組織し施設運営をサポート。	いつでも、誰もが学習できる環境づくり
12	福生市民会館・公民館	福生市	東京都	教委	指定管理(市民会館部分のみ)/ふっさJ&S事業体((株)JTBコミュニケーションデザイン、(株)サイオー	2009	9時~22時	月(祝翌)、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、場の提供	ホール(33,000~172,000円) 集会室(1,000~9,000円) ※公民館サークルの免除規定有。	199,575人 (2018年度)	57,024	0	0	3	5	8	公民館=市民会館・公民館、分館2、その他施設=地域会館、市民サポートセンター	市民会館と公民館の複合施設で、市民会館部分に指定管理者制度を導入。建物内に公民館の占有区画(音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室)が存在するが、公民館の事務所自体は別棟にある。別に事務局に生涯学習推進課があり、人材バンクや主催事業を実施。	市民の皆さんの学習活動を支援・奨励する社会教育施設

番号	施設名	自治体	都県	所管	民間活力導入形態	導入年	開館時間	休館日	主な事業(キーワード)	主な施設(全日利用料金)	利用者数	人口 2021年1月 単位:人	生 セ 数	会 館 数	公 民 館 数	そ の 他 数	関 連 施 設 合 計	備考	事例としての特徴	HPに掲載されている施設のコンセプトなど(掲載がない場合は設置条例にある設置目的)
13	生涯学習センター	清瀬市	東京都	教委	直営		9時～22時	月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供、学習相談 総合調整、出前講座	ホール(13,900～15,800円)、会議室・講座室(2,600～6,500円) ※土日主料金有。市民以外は1.5倍。	71,639人(2019年度)	74,905	1	0	0	0	1	1館でビルの5～7階。①情報収集・提供、②講座・講演会の実施、③企画及び総合調整、④学習相談、⑤施設貸出を行うとしており、業務内容は町田と酷似している。出前講座を実施しており、36講座と充実している。	市内に1館、ビルの区分所有、事業内容など現在の町田市と似通った点が多い。教育委員会の直営というところも同一。	市民の生涯各時期における学習活動および文化活動の振興と市民生活の充実を図るために開設
14	生涯学習センター(まろにえホール)	東久留米市	東京都	教委	指定管理/JN共同事業体((株)JTBコミュニケーションズ、野村不動産パートナーズ)	2010	9時～22時	第4月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 損害保険	ホール(56,800～85,190円)集会学習室(2,600～6,280円)、音楽室(6,600～9,880円) ※市民・市民以外の2段階料金制。	136,242人(2019年度)	117,007	1	0	0	0	1	1館で指定管理。市民大学などの講座を実施。事務局で社会教育活動主催者損害賠償保険を運用。	市民団体向け損害賠償保険制度を扱っている点は珍しい。	ホール、学習室、創作室、料理室などを備えた生涯学習施設で、各種サークルや市民活動団体の活動に最適。
15	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市	東京都	教委	直営		9時～22時	月曜日、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出	ホール(107,960～132,410円)、会議室・学習室(1,940～5,090円)、音楽練習室(5,090～7,840円) ※土日祝料金有。	277,666人(2019年度)	54,725	1	0	0	0	1	1館で直営。寄席、映画会、展覧会などホールを活用した文化事業も主催している。	生涯学習センターに市民ホールが複合した事業展開。やや文化より。	文化・芸術及びコミュニティの振興のために、子どもから高齢者まで多くの人が集まり、生涯を通じて「学び・楽しむ・交流する」賑わいの場を目指す。
16	有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ	川崎市(宮前区)	神奈川県	首長教委	指定管理/アクティオ(株)(町田市受託実績業者)	2009	9時～21時	第3月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、図書貸出、情報提供、場の提供	集会室(11,220円、土日祝13,440円) 学習室(3,190～9,570円、土日祝3,810～11,430円)	109,311人(2019年度)	1,538,952	0	0	0	19	19	教委＝教育文化会館(本館1、分館2)、市民館9、川崎生涯学習プラザ 首長＝区役所生涯学習支援課(アリーノ)	川崎市は教委で生涯学習を所管しているが、宮前区役所が独自に設置した生涯学習施設。小規模ながら図書館機能を有し、年間10万人の来館がある。指定管理者のアクティオ(株)は、町田市における指定管理受託実績あり(ひなた村)。	地域における市民の主体的な学習活動の支援を行うことにより、生涯学習の振興を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりに寄与するための施設。
17	相模原市生涯学習センター(総合学習センター)	相模原市	神奈川県	教委	事業委託/市民大学事業を(公社)相模原・町田大学地域コンソーシアムに委託	2008	9時～22時	第3木、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、出前講座、研究機関等公開講座、学習相談	大会議室(14,300円) セミナールーム(7,700円) 会議室・和室(2,200円)	56,099人(2019年度)	718,601	2	0	32	0	34	公民館32、総合学習センター、津久井生涯学習センター	近隣の事業委託事例。市民大学事業をさがまちコンソに委託(大学公開講座を市営で行うイメージ)。総合学習センター内に生涯学習センターと教育センターの2組織が存在し、学社連携を重視した事業展開が目立つ。教育センターでは教職員向け研修を実施。津久井は旧4町にある分館で自然特化。他に公民館32館があり、分散している。	生涯学習社会の実現を図るため、市民の生涯学習活動を支援すると共に、学校教育及び社会教育の向上に必要な調査、研究及び研修を総合的に行う施設。

②多機能型の複合施設

1	なかのZERO(もみじ山文化センター)	中野区	東京都	首長	指定管理/JN指定管理者共同事業体((株)JTBコミュニケーションデザインほか)	2006	9時～22時	2・6・11月第4月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、学習相談、情報提供、生涯学習情報サイト	大・小ホール(27,100～630,600円)、美術ギャラリー(3,300～5,400円) 音楽室(1,600円) 学習室(1,400～3,300円)	1,139,249人(2018年度)	334,632	0	0	0	3	3	その他施設＝なかのZERO、なかの芸能小劇場、野方区民ホール	生涯学習と文化芸術の複合施設。ホールやギャラリー、学習室の他、図書館、プラネタリウム、公園などからなる。なかのZERO、なかの芸能小劇場、野方区民ホールを一括して同一の管理者が受託。学習相談として「生涯学習活動・支援コーナー」を設置しているほか、生涯学習情報サイト「中野まなVIVAネット」を運営。	生涯学習・文化芸術活動の拠点となる施設。
2	武蔵野プレイス	武蔵野市	東京都	教委	指定管理/(公財)武蔵野生涯学習振興事業団	2011(開館と同時に)	9時30分～22時	水曜日(祝日の場合翌日) 年末年始	(図書館機能) (市民活動支援機能) (生涯学習支援機能) 講座実施、学習スペース提供、施設貸出、情報交換、地域映像アーカイブ (青少年活動支援機能)	大会議室(23,800円)、会議室A～E(2,800～9,000円)、ギャラリー(6,300円)、スタジオ(4,000～7,000円:大人半日) ※市外割り増し、青少年割引有。	195万人(2016年度)	147,643	0	1	0	1	2	市民会館、その他の施設＝武蔵野プレイス	「習いたい人と教えたい人が出会う場と機会(プレイス)を提供というコンセプト」で、図書館、市民活動支援、生涯学習支援、青少年活動支援の4機能を持つ複合施設。	複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざす。
3	三鷹市生涯学習センター	三鷹市	東京都	首長	指定管理/(公財)三鷹市スポーツと文化財団	2017(複合施設開設と同時に)	9～22時	第4日曜日 年末年始	講座実施、生涯学習相談 生涯学習人材バンク「まの先生」、「学習サークル情報」の提供、夏休み自主学習スペース開放、個人学習スペース開放、施設貸出	学習室1～7(3600～8,800円) 創作室1・2(8,000円) 料理実習室(10,000円) 和室(5,200円) ホール(26,800円) ※市外割り増し有。	74,612人(2018年度)	190,126	1	0	0	2	3	その他施設＝多世代交流センター(児童館+社会教育会館)2館	財団による指定管理の事例として紹介。市民との協働重視で、市民大学、人材バンク、学習相談、個人学習スペース開放などを実施。	さまざまなライフステージにおける生涯学習の機会と場を提供する「生涯学習の拠点」。「市民との協働」という方向性を大切にしながら、さらに多世代に渡る市民のより主体的で多様な生涯学習ニーズに応じた学習活動を支援できるよう、多彩な生涯学習プログラムを提供する。
4	大和市文化創造拠点シリウス	大和市	神奈川県	首長	指定管理/やまとみらい((株)図書流通センター、(株)小学館集英社プロダクションほか4社)	2016(開設と同時に)	9時～21時30分	年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、人材バンク、出前講座、団体・サークル支援、学校開放	講習室(7,500円) 会議室(4,800～9,600円) 調理実習室(9,600円) スタジオ(1,800～9,000円)	3,053,751人(シリウス全体。生涯学習センターは562,239人。2017年度)	239,744	1	0	0	4	5	他に学習センター4館(旧公民館)	近隣の市近隣の事例。図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、こども広場の複合施設。図書館が中心で、生涯学習センター単館としては参考にしにくい。6階1フロア年間62講座と運営規模は町田を下回りながら、町田の3.5倍の利用者数がある。	「心に響く・心が躍る・心をつなぐ」子どもから大人まで多くの方に、芸術文化や生涯学習の素晴らしさ、新しい知識・人々との心弾む出会いを届け、心に一体感を生み出す場として誕生。

③一部の機能に特化した形態

1	生涯学習情報コーナー	調布市	東京都	首長教委	事業委託(サイト運営・更新)/NPO調布市地域情報化コンソーシアム	2007	9時～21時30分	第4月とその翌日、年末年始	学習情報、施設情報、団体・サークル情報、学習相談、交流の場の提供	フリースペースのみ	不明	237,815	1	0	3	0	4	首長＝生涯学習情報コーナー(文化会館たづくり11階) 教委＝公民館3館	情報収集・提供と学習相談に特化した施設。別に教委で公民館3館を運営しており、公民館で講座事業や施設貸出を行っている。参考としては限定的だが、センター機能の公民館が担わない部分に特化した事例。	サークル・人材・施設等の生涯学習情報を一元的に管理し、市民の皆さんが市内のサークルなどの活動情報を簡単に検索できるサイト。
2	横浜市社会教育コーナー	横浜市	神奈川県	教委	指定管理/NPO法人横浜市民アクト	2006	9時～21時(日祝は17時)	第1月、年末年始	施設貸出、場の提供、情報提供、学習相談 地域展開、コーディネーター	アートルーム(4,800円) 研修室(3,000～3,600円)	44,285人(2019年度)	3,758,462	0	0	0	19	19	UR団地の1階部分。トレーニング室、スポーツ広場を併設している。別に区毎に市民活動・生涯学習支援センター(18館)がある。	学習室4室、体育室2室の小規模施設。生涯学習活動の場として設置。場の提供、学習情報の提供、相談を業務としているが、NPOが自主事業として、各種講座を実施している。100万都市にしては小さいが、区毎に18の市民活動・生涯学習支援センターを設置しコーディネーターを配置している。生涯学習のポータルサイト「はまなび」を公式HP内で運用。	市民の生涯学習活動や研修活動、ボランティア活動などの場として、また生涯学習に関わる情報提供や交流の場。